

令和2年度入学者選抜試験

表紙（工学部・生命環境学部 数学I・A・II・B・III）

(注意事項)

1. 試験開始までに表紙の注意事項をよく読んでください。
2. 試験開始の合図があったら、すぐに種類と枚数が以下のとおりであることを確かめた上で、受験番号を8枚すべてに記入してください。

表紙	1枚
計算用紙 計算用紙1および計算用紙2	各1枚 計2枚
問題用紙	1枚
答案用紙（数学I・A・II・B・IIIその1）から（数学I・A・II・B・IIIその4）	各1枚 計4枚
3. 試験終了後、すべての用紙を回収します。
4. 配付された用紙が上記2.と異なっているときや印刷が不鮮明なときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 出題された各問題に対する解答は、その問題番号が上部に印刷されている「答案用紙」に記入してください。必要ならば、解答の続きを答案用紙の裏に書いてもかまいません。その場合、裏にも解答が書かれていることがはっきりと分かるように、表に書き示してください。
6. 「答案用紙」の右下隅にある小計の欄には何も記入してはいけません。

受験番号

令和2年度入学者選抜試験

# 計算用紙1(工学部・生命環境学部 数学I・A・II・B・III)

計算用紙は採点の対象になりません。必要事項は答案用紙に転記してください。

受験番号

令和2年度入学者選抜試験

# 計算用紙2(工学部・生命環境学部 数学I・A・II・B・III)

計算用紙は採点の対象になりません。必要事項は答案用紙に転記してください。

受験番号

令和2年度入学者選抜試験

問題用紙（工学部・生命環境学部 数学I・A・II・B・III）

- 1 (1) 整数  $a, b$  はともに 3 で割った余りが 1 である。このとき,  $ab$  を 3 で割ると余りは 1 であることを示せ。また、整数  $m, n$  がともに 3 の倍数でないとき,  $m^2 + n^2$  を 3 で割った余りを求めよ。
- (2) 実数  $x, y$  が  $0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1$  の範囲を動くとする。 $X = 3x + 2y, Y = 2x + 3y$  とするとき, 点  $(X, Y)$  の動く領域を  $XY$  平面上に図示せよ。
- (3)  $n$  を整数とするとき, 複素数  $z = \frac{(\sqrt{3}+i)^n (\sqrt{3}+3i)}{-1+i}$  は実数でないことを示せ。ただし,  $i$  は虚数単位である。
- 2  $a, b, p, q$  を実数とし,  $a \neq b$  とする。 $xy$  平面において, 2 直線  $y = 2ax, y = 2bx$  が放物線  $C: y = x^2 + 2px + q$  と接している。
- (1)  $p$  および  $q$  を,  $a, b$  を用いた式で表せ。
- (2)  $a, b$  が  $a^2 + b^2 = 4$  の関係を保ちながら動くとき,  $p$  の値の範囲を求めよ。
- (3)  $a, b$  が  $a^2 + b^2 = 4$  の関係を保ちながら動くとき,  $C$  の頂点の軌跡を求めよ。
- 3 関数  $f(x) = xe^{-x}$  に関する次の問い合わせに答えよ。
- (1)  $x > 0$  のとき  $f(x) < \frac{2}{x}$  を示せ。また,  $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x)$  を求めよ。
- (2) 関数  $y = f(x)$  の増減, 凹凸, および変曲点を調べよ。
- (3) 曲線  $y = f(x)$  と  $x$  軸および 2 直線  $x = \frac{1}{2}, x = 1$  で囲まれた図形を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積  $V$  を求めよ。
- 4 2 以上の整数  $n$  と実数  $p_n$  に対し,  $xy$  平面上の曲線  $A_n: y = p_n x^n$  と曲線  $B: y = \log x$  を考える。この 2 つの曲線が共有点  $(a_n, \log a_n)$  をもち, この点で共通の接線をもつとする。
- (1)  $p_n$  および  $a_n$  を,  $n$  を用いて表せ。
- (2)  $A_n, B$  および  $x$  軸で囲まれた図形の面積  $S_n$  を,  $n$  を用いて表せ。
- (3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 S_n$  を求めよ。なお, 不等式  $1 + \frac{1}{n} + \frac{1}{2n^2} \leq e^{\frac{1}{n}} \leq \frac{2n^2 - 1}{2n(n-1)}$  ( $n \geq 2$ ) を利用してもよい。

受験番号

令和2年度入学者選抜試験 答案用紙 (数学I・A・II・B・IIIその1)

1 (1)

---

(2)

---

(3)

数学その1  
工学部・生命環境学部

受験番号

小計

令和2年度入学者選抜試験 答案用紙 (数学I・A・II・B・IIIその2)

2

数学その2  
工学部・生命環境学部

受験番号

小計

◇M11-6

令和2年度入学者選抜試験 答案用紙 (数学I・A・II・B・IIIその3)

3

数 学 そ の 3  
工 学 部・生命環境学部

受 験 番 号

小 計

◇M11-7

令和2年度入学者選抜試験 答案用紙 (数学I・A・II・B・IIIその4)

4

数 学 そ の 4  
工 学 部・生命環境学部

受 驗 番 号

小 計